

2022年市民スポーツ大会および2023ライラックチャレンジ チャイルド徒手団体

〈人数〉 4～8人

年齢 幼児～小学6年生まで

〈主旨〉 全身を使った正しいフォームの習得を目指す

■点数配分

要素/配分	技術的価値 (D) 各身体難度1.0MAX	注意及び関連事項
身体難度 DB 4～7難度	・鹿ジャンプP75 No32 最低1個 0.2 ・横バランスP85No9 最低1個 0.2 (手支持あり・かかとの支持在り) ・パッセローテーションP98 No3 最低1個 0.1～0.3 ・自由選択 最低1個～最高4個 各0.1～0.3 *コンバイン難度は禁止	・難度は同時または早い連続で次々と ・自由選択の難度は異なるタイプと価値にて実施してもよい
ボディムーブメント BM Max 1.4	・ウェーブ（全身を使った波動） ・スイング（全身を使った振動） ・コントラクション（みぞおちの収縮） ・ベンディング（背骨の屈曲） ・ツイスト（ひねり） ・リーン（傾斜） ・リラックス（脱力） 各0.2	・全て単独での加点 各1回 ・難度は同時または早い連続で次々と - サブグループではなく全員で行う
アームムーブメント Arm Max 0.6	・最低2種類の腕の動きの 組み合わせで 3つ 各0.2	・腕の動きとは腕の波動、振り、回旋や8の字など移動中、立位、座位で使用可。 ・手首だけの動きは腕の動きではない
ダンスステップ コンビネーション S 最高4つ	・8秒以上 各0.3	・ダンスステップシリーズにはブリアクロバット要素・DBはいれないこと ・アームムーブメントと合わせて行ってもよい ・全員で行う事
ブリアクロバット要素 R Max 0.4	・2つ異なるブリアクロバット要素 各0.2	・全員で同種類のものを同時に実施または素早い連続による実施 ・単独で実施
連係C Max 10コ	・ブリアクロバット要素を伴った連係（CR） 0.3 - 最低1個～最高3個 ・回転を伴わない連係（C） 最低3個 0.2	・CR連係はパートナーの上、下、中をくぐりぬける事 ・C連係はチーム全員が関わっていること
注意点	・身体難度及び連係について不足は減点する（多いものはカウントしない） ・DB難度のカウントは実施順にカウントする ・フォーメーションは最低6個実施すること ・ブリアクロバットはCRで使ったものはリスクでは使用不可（各グループから1回のみ使用・シリーズは可） ・ブリアクロバット要素グループから同じ要素を実施した場合は2回目以降は無効 ・CLは禁止。人を持ち上げて移動や引きずる場合2歩までは良い ・人の上を歩く場合1歩までとする。（2歩以上は禁止）	

※リフト（CL）とは立位の状態の肩よりも高く持ち上げることをいう

2022年市民スポーツ大会および2023ライラックチャレンジ ジュニア徒手団体

〈人数〉

4～8人

年齢 幼児～中学生まで

〈主旨〉

全身を使った正しいフォームの習得を目指す

■点数配分

要素/配分	技術的価値 (D) 各身体難度1.0MAX	注意及び関連事項
身体難度 DB 4～7 難度	- ジャンプ/リープ 最低1個 0.1～ - バランス 最低1個 0.1～ - ローテーション 最低1個 0.1～ - 自由選択 最低1個～最高4個 0.1～ ＊コンバイン難度禁止	・難度は同時または早い連続で次々と、サブグループではなく全員で行う ・自由選択の難度は異なるタイプと価値にて実施してもよい
ウェーブ W Max0.6	・ウェーブ（全身を使った波動） 各0.3 最高2個	・全て単独での加点。各1回 ・難度は同時または早い連続で次々と、サブグループではなく全員で行う ・一つは立位で、もう一つは自由選択
アームムーブメント Arm Max 0.6	・最低2種類の腕の動きの組み合わせで 各0.2 3つ	・腕の動きとは腕の波動、振り、回旋、8の字など移動中、立位、座位で使用可。 ・手首だけの動きは腕の動きではない
ダンスステップ コンビネーション S 最高4つ	・ダンスステップ 各0.3 8秒以上	・ダンスステップシリーズにはプレアクロバット要素・DBはいれないこと ・アームムーブメントと合わせて行ってもよい ・全員で行う事
回転を伴う プレアクロバット R Max 0.4	・垂直軸とプレアクロバット要素での組み合わせ	・全員で同種類のものを同時・同方向に実施 ・回転軸の変更で0.1加点 (例：シェネ2回+前転1回=R3Z 0.4点) ・シリーズで2～3回転（4回転は禁止）
連係 C Max 15個	・プレアクロバット要素を伴った連係 (CR) 0.3 - 最低1個～最高5個 ・回転を伴わない連係 (C) 最低3個 0.2 ・リフティング (CL) 最高1個 0.2	・CR連係はパートナーの上、下、中をくぐりぬける事 ・C連係はチーム全員が関わっていること
注意点	・身体難度及び連係について不足は減点する（多いものはカウントしない） ・DB難度のカウントは実施順にカウントする ・フォーメーションは最低6個実施すること ・プレアクロバットはCRで使ったものはRでは使用不可（各グループから1回のみ使用・シリーズは可） ・プレアクロバット要素グループから同じ要素を実施した場合は2回目以降は無効 ・CLで人を持ち上げて移動や引きずる場合2歩までは良い ・人の上を歩く場合1歩までとする。（2歩以上は禁止）	

※リフト (CL)とは立位の状態の肩よりも高く持ち上げることをいう